



国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長 シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 桑澤 一郎

Rotary
Club of Ueda



WEEKLY REPORT



2021-22年度
上田ロータリークラブ

- 会長 米津 仁志
- 副会長 金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事 柳澤 雄次郎
- 会報委員長 田邊 利江子

第2872回例会 (令和4年6月27日)

《最終夜間例会・小諸RC様をお迎えして》



ホームページQR

【退会セレモニー】

●花岡正人さん(会歴34年)

お手紙拝受(代読 米津仁志会長)

令和4年6月末日をもって、一身上の事情により、貴クラブを退会させていただくことになりました。

米津会長様よりは、来る6月27日(月)の夜間例会の折に会員の皆様方へのご挨拶をとのご指示をされておりますが、当日差し支えがありお伺い出来ませんので、大変失礼ながら、会報上でのご挨拶とさせていただきます。

昭和62年8月24日に、貴クラブに入会をさせていただき、長期間に籍いたしました。貴クラブに対して寄与と貢献することが少なく恥入るばかりであります。

長い伝統のある貴クラブは、きちんとした例会運営、諸活動を的確にされており、日頃敬意と謝意を表しておりました。

また、多くの趣味の会があり、私も川柳、ワイン、カラオケ、釣り魚グルメ、そばの会等において、多くの会員諸兄とともに、楽しみと有益な時をたくさん過ごさせていただきました。

貴クラブの益々のご発展と会員諸兄姉の一層のご活躍を祈念いたしております。

長い間大変お世話になり、誠にありがとうございました。

心より厚く御礼申し述べ、退会のご挨拶といたします。

(今後は会友となっていただけます。これからもよろしくお願いいたします。)



●鈴木 哲さん(会歴31年)

退会については半年前から考えておりましたが、途中で辞めるのも失礼にあたると思いまして、今月末をもって退会させていただきたいと思っております。

31年間のロータリーの活動の中では、岡さんやいろんな方に大変お世話になりました。ロータリーならではの「人との出会い」をこれからも大事にしていきたいと思



ますのでよろしくご指導お願いいたします。ありがとうございました。

(今後は名誉会員となっていただけます。これからもよろしくお願いいたします。)

●石森周一さん(会歴30年)

大変お世話になりました。

86歳になり高齢ということで退会をさせていただきます。

入会は平成4年です。ちょうど小幡副幹事さんのお父さんが横においでになりまして、緊張している中いろんな話をさせていただき緊張が和らいだそんな思い出があります。平成4年から30年いろいろと皆様方にお世話になりました。今後は自分の趣味をいかして心豊かに生活をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(今後は会友となっていただけます。これからもよろしくお願いいたします。)



●関 宇陽さん(会歴6年)

非常に急な退会の申し出をすることになってしまいました。本来であれば来期の役員を仰せつかっておりましたが、非常に身勝手な行動をして多大なご迷惑をおかけすること心苦しく思っております。申し訳ございません。

これからも上田ロータリークラブのご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げましてご挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。



●中村邦彦さん(会歴3年)

ついにこの時がきてしまいました。このたび本部へ異動となってしまいました。ちょうど3年前に緊張しながら小幡さんから「伝統あるという言葉を使ってから挨拶をするんだぞ」と



教えていただきました。ロータリー活動は初めてでしたので、不安の中、皆様に本当に良くしていただき、支えていただけて楽しく3年間を過ごさせていただきましたこと本当にありがとうございます。感謝しております。後任には上田出身の田原がお世話になるかと思います。ぜひお仲間に入れていただきまして、引き続き活動をさせていただければと思います。上田ロータリークラブの益々のご発展と本日お集りの皆様のご祈念を申し上げまして簡単ではございますが退会の挨拶とさせていただきます。本当に3年間お世話になりました。ありがとうございました。

[役員退任の挨拶]

柳澤雄次郎 幹事

一年間楽しい米津会長年度にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

コロナにより2回例会を休会した後、すぐにオンラインで例会や理事会を行えたことはデジタル推進化委員に感謝いたします。桑澤ガバナーの下、初めてロータリー奉仕デーを行ったり、初めてオープン例会を行ったり、IM会員セミナーを小諸RCと連携して開催したり、他にも甘露保育園・蓮の音こども園への支援事業、東近江RCとの夜間例会、ウクライナ義援金で232万円寄付したり、6クラブゴルフ、マリコワイナリーでの職場例会、クリスマス例会に家族旅行にフリーマーケットと、一年間本当に様々な行事を親睦委員・会場委員・会報委員そして会員増強委員長・プログラム委員長と共に企画実施して参りました。その企画力と行動力とまともは、さすが上田ロータリークラブと感心するところがありました、本当に上田RCで良かった！怒らない米津会長で良かった！食事もワインもおいしい「ささや」でよかった！と今、心から思っています。

こころ残りなのは地区大会が中止だったことですが、今思うと、あの2日間の休暇がなかったら最後までもたなかったような気がします。

会員の皆様への案内は誤字脱字、日付間違え、名前間違え、さらには開催場所間違えと、いかに自分に文章注意力がないか思い知りました。先日、公認会計士の一次試験を突破した息子の爪の垢を煎じて飲むために東京に行っていました。一から勉強し直したいと思います。大変ご迷惑をおかけし、本当に申し訳ありませんでした。

米津年度は当初62周年で62名の会員という目標で、57名からスタートし、入会の意思があると聞いたら速攻でお伺いし、その場で申込書に記入いただき、入会日を先に決めて、間に合うところで増澤ロータリー情報委員長・横沢ロータリー情報副委員長のご予定を伺いながら面接日を段取りすることで、入替の2方を含めて8名の新入会員をお迎えすることができました。一時は目標の会員62名をクリアしたことを皆様どうか忘れないでください。その後の最終結果は忘れていただいて構いません。ちなみに、上田RCの平均年齢は64歳から61歳に若返りました。6クラブの中で一番若いクラブといえます。

最後になりますが、来期矢島年度の会員増強委員長として、一言、「新入会員を入れる努力は引き続き頑張りますので、会員の皆様、どうか来期はやめないでください。」

以上 退任の挨拶といたします。

一年間楽しくお付き合いいただき本当にありがとうございました。

[会長挨拶及び退任の挨拶]

米津仁志 会長

みなさん、こんばんは～激動の一年もいよいよ終わりを迎え、最後の例会となりました。一年間、強力な推進力で奉仕活動、親睦活動を進めてくださった柳澤幹事、湯田副会長、金子副会長を始め、すべての会員みなさまのお力添えに感謝申し上げます。来期の矢島年度にも倍旧のご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日はIM・会員セミナーを通じてつながりができた小諸ロータリークラブのみなさまが懇親会に参加されます。親睦を深め、楽しい晩餐にしましょう。

さて、ロシアの日(6月12日)に、プーチン大統領が演説でピョートル大帝について取り上げたことがニュースになっています。プーチン大統領は以下のようなことを述べました。

“「ピョートル大帝(ツァーリ：初代ロシア皇帝)と彼が進めた改革については、今も論争が続いている。しかし、彼の統治下でロシアが強力な偉大な、世界的大国の座を占めたことは認めざるを得ないだろう。彼の強力な個性、決めたことをやり遂げる際に発揮した恐れを知らぬ姿勢と粘り強さに対して、我々は今も敬意を抱く。」”

(アエラの記事より)

6月9日(ピョートル大帝の誕生日：今年は生誕350年だそうです。)には以下のようにも述べています。

“「彼がスウェーデンから何かを奪ったように見えるかもしれない。しかし、何も奪ってはいない。取り戻しただけなのだ！彼がやったことは、取り戻したうえで、それをしっかり確保したということだ。」”

これは大北方戦争のことを述べています。この戦争は、1700～21年、ロシアがスウェーデンと戦って勝利し、バルト海を支配するようになり、大国化の契機をつかんだ戦争です。

スウェーデンは、これより前、ロシアの内戦(イングリア戦争1610～1617)に介入し、西カレリア、イングリアを獲得しました。これによりロシアはおよそ1世紀の間バルト海への入り口を失いました。さらにスウェーデンは、三十年戦争(1618～1648)に介入し、ウェストファリア条約で北ドイツなどにも領土を得て、バルト海沿岸をすべて支配するようになりました。このころのスウェーデンは、バルト帝国またはスウェーデン帝国と呼ばれています。

スウェーデンの勢力拡大を恐れたロシアとポーランド王国、デンマークはその拡大を阻止することで利害が一致し、1699年に密かに同盟しました。特に、当時まだ新興国であったロシアのピョートル1世は、バルト海への進出を強く願っていました。

大北方戦争は20年以上に渡る戦争となり、北欧・東欧情勢の中で、スウェーデンの後退を決定的にし、それに代わってロシアがバルト海の支配者として大国化していきましました。ヨーロッパでの主権国家形成が完了する時期となり、イギリス・フランス・プロイセン・オーストリア・ロシアという五大国体制の時代になりました。

これらの歴史的経緯を振り返ると、プーチン大統領の発言は、ピョートル大帝に敬意を表し、ロシアを強大にするために、ウクライナに一步も引かない決意を示したものであるといえましょう。

長野県の新型コロナウイルスの感染状況は、6月24日現在、佐久と松本圏域の感染レベルが3、上田圏域が2、その他のすべての圏域の感染レベルが1です。以下の情報は私がインターネットから収集したものですので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの新規感染者数は6月17日から6月23日の一週間の値で、長野県全体は39.11人(48.82人)、上田圏域は44.35人(45.90人)、佐久圏域が75.82人(61.14人)、長野圏域27.03人(35.47人)、南信州が29.61人(39.91人)、北アルプス圏域21.34人(88.91人)、木曽圏域は47.10人(51.02人)です。カッコ内は6月10日～6月16日の値です。

全国的には、全国平均で78.82人(79.23人)、大阪88.80人(92.38人)、東京91.73人(79.53人)、沖縄584.39人(590.60人)、石川県80.75人(87.22人)、富山県70.66人(65.90人)です。6月17日から23日の値です。()内は6月10日から16日の値です。全国的に下げ止まりでしょうか。

一人が何人に感染させるかを示す実効再生産数は、全国平均で1月9日に5.9人でピークを打ち、6月23日には1.00です。長野県は、1月8日に4.62人でピークとなり、6月23日で0.94人です。長野県内では6月23日現在、重症者はいません。全国でも重症者は36人です。

海外につきましては、アメリカが210.08人(223.36人)、フランス620.09人(507.57人)、韓国が96.19人(102.14人)、イギリスが171.50人(132.55人)、ドイツが663.98人(478.05人)、南アフリカ10.63人(13.31人)、中国0.07人(0.09人)です。6月23日現在の値で、カッコ内は6月16日の値です。国によってばらつきがありますが、下げ止まりしている感じです。データは札幌医大フロンティア医学研究所のサイトから引用しています。

さて、ドラッカーの著作を一年間ご紹介してきましたが、私の拙い話では網羅は出来ませんでしたし、十分にお伝えすることも出来ませんでした。もし、ご興味をおもちになった方がおられたら、一番読みやすい『経営者の条件』から読んでいただきたいと思います。

最後は、ドラッカーの有名な問い「何によって憶えられたいか」をご紹介したいと思います。

“私が13歳のとき、宗教の先生が「何によって憶えられたいかね」と聞いた。誰も答えられなかった。すると、「答えられると思って聞いたわけではない。でも五〇になっても答えられなければ、人生を無駄に過ごしたことになるよ」といった。

長い年月が経って、私たちは六〇年ぶりの同窓会を開いた。ほとんどが健在だった。あまりに久しぶりのことだったため、初めのうちは会話もぎこちなかった。すると一人が、「フリーグラー牧師の問いのことを憶えているか」といった。みな憶えていた。ある者は四〇代になるまで意味がわからなかったが、その後、この問いのおかげで人生が変わったといった。二五くらいになってから考え始めたという者も何人かいた。

二〇世紀最高の経済学者ジョセフ・シュンペーターは二五のとき、ヨーロッパの馬術家、ヨーロッパの美人の愛人、偉大なる経済学者として憶えられたい、といった。しかし、亡くなる直前の六〇の頃、同じ問いを再びされたときには、馬のことも女性のことも言わなかった。インフレの危機を最初に指摘した者として憶えられたいといった。事実、彼はそのように憶えられた。それこそ憶えられるに値することだった。

今日でも私は、いつもこの問い「何によって憶えられたいか」を自らに問いかけている。これは自己刷新を促す問いである。自分自身を若干違う人間として、しかしなりうる人間としてみるよう仕向けてくれる問いである。”

P.F.ドラッカー『非営利組織の経営』p219-220より引用

この部分を読んでからもう10年以上が経ち、年齢も50歳も過ぎてしまいましたが、私自身が「何によって憶えられたいか」という問いに明確に答えられていません。コロナ禍がようやく終息しそうないま、自分のすべきことをもう一度考え直していきたいと思います。

思えば、コロナ禍の想像さえできなかった2019年に歴史と伝統のある上田ロータリークラブの2021～2022年度の会長就任をお引き受けし、コロナ禍で私の仕事が大打撃を受けている真っ最中にその職務を遂行することとなりました。私にとっては不思議なタイミングでした。これからしばらくは社会的な活動は減らして仕事の業績回復に努めてまいります。

一年間誠にありがとうございました。みなさまの益々のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

【新旧会長・幹事バッジの交換式】



〔幹事報告〕

柳澤雄次郎 幹事

1. 地区事務所

「ポリオデーポータルサイト」
開設のお知らせ
「青少年育成基金規約」改正に
ついて

R L I 補修コース時間割について

2. 小諸浅間 R C 例会開催日変更のお知らせ

3. 信州民報

上田 R C ロータリーデーにフリマ 会場に手作り募金箱

4. 東信ジャーナル

上田 R C 災害救助募金呼びかけ初のフリーマーケット

5. 会報恵送 上田六文銭 R C



〔例会の記録〕

司 会：小幡晃大 副幹事

斉 唱：ロータリーソング「仲良しロータリー」

●退会セレモニー

●幹事報告及び退任の挨拶

●会長挨拶及び退任の挨拶

●会長・幹事バッジの交換式

〔ラッキー賞〕

小林 浩太郎さん

(米津仁志会長より、太郎吉パンの抹茶食パン)

鈴木 哲さん(柳澤雄次郎幹事より、東京大丸のお菓子)

石森 周一さん(柳澤雄次郎幹事より、東京大丸のお菓子)



〔ニコニコBOX〕

櫻井雅文 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん

石森周一さん 出田行徳さん

伊藤典夫さん 内河利夫さん

小幡晃大さん 金子良夫さん

上島孝雄さん 柄澤章司さん

北村修一さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん 小山宏幸さん

斉藤達也さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 島田甲子雄さん

鈴木哲さん 関勇治さん 滝沢秀一さん 田中健一さん

田邊利江子さん 土屋勝浩さん 成澤厚さん 林秀樹さん

布施修一郎さん 丸山正一さん 宮川泰さん 矢島康夫さん

柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん 湯田勝己さん 横沢泰男

さん 米津仁志さん 小林浩太郎さん 田中克明さん

桑澤俊恵さん 櫻井雅文さん 中村邦彦さん 滋野真さん

小諸 R C 会長 山口哲也 様 I M・会員セミナー残金

本日喜投額 42名 ￥ 170,124

累 計 ￥2,031,124



〔出席報告〕

小幡晃大 副幹事



ニコニコBOX目標達成いたしました！

会員の皆様、ご喜投ありがとうございました。

	本日	前々回 (6/13)
会 員 数	61	61
出席ベース	55	55
出席者数	46	42
出席免除(b) ()内は出席者数	11(5)	11(5)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		0(42)
出 席 率	コロナ禍の島 100	コロナ禍の島 100

〔次回例会予定〕

7月11日(月) 役員・理事・小委員長就任挨拶

(7月4日発行)

【会報担当】 田邊利江子 委員長

最終夜間例会

●司会

親睦活動・家族委員会 田中克明 委員

●ゲストの紹介 小諸 R C 様(9名)

東信第一グループガバナー補佐 中野信之 様

小諸 R C 会長 山口哲也 様

小諸 R C 幹事 小山信温 様

I M・会員実行委員長 小林美智子 様

I M・会員実行委員会幹事 小林 潤 様

重田 嘉一 様

樽澤 清子 様

小松富美男 様

柏木 君雄 様

●演奏者紹介 お寺バンド(リーダー 布施修一郎さん)

●ご 挨拶 I M・会員実行委員長 小林美智子 様

●会 長 挨拶 米津仁志会長

●ご 挨拶

東信第一グループガバナー補佐 中野信之 様

●乾杯のご発声

東信第二グループガバナー補佐 北村修一さん

●ご 挨拶 小諸 R C 会長 山口哲也 様

●中 締 め 会長エレクト 矢島康夫さん

●手に手つないで(お寺バンド生演奏)

【懇親会ご挨拶】

IM・実行委員会 委員長 小林美智子様
皆様こんばんは。2月のIM・会員セミナーにおいては上田RCの皆様方には大変ご協力を賜りましたこと、この席をお借りいたしまして御礼申し上げます。そして初めての試みでありましたオンライン開催も無事に開催することができましたのも、皆様方のご協力の賜だと思っております。ありがとうございます。そして、本日最終例会の懇親会の場にお声がけをいただきまして、本日9名で参加をさせていただきました。大変嬉しく思っております。親子クラブではございますが、今までは交流の機会があまり持てなかったように感じられます。今後は是非ともこの機会をいい機会として、更なる密な交流が深まればと感じております。よろしくお願いいたします。



小諸は、来年10月に60周年を迎えます。その際にはご案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

【懇親会挨拶】

ここからは懇親の席ということで、一年間のことを色々思い出しながら締めくくり、リラックスした時間を過ごしていただけたらと思います。色んな事がありましたので、これからも乗り越えていけるだろうと思います。



先輩方が退会されるのはとても残念ではありますが、残っていただきたいという思いもありますが、それぞれに事情もあります。新しい人が入るとまたクラブが活性化していく、退会した先輩方も我々のことを見てくださるということがありますから、そういうことを通じて更に改革して、刷新していくということになればいいなと思っております。

今日でひとつの区切りとして、また来年からさらに飛躍できますように、何卒よろしくお願いいたします。今日はゆっくり楽しんでください。ありがとうございました。

【懇親会ご挨拶】

東信第一グループガバナー補佐 中野信之様
本日はお招きいただきましてありがとうございます。

梅雨が明けたという宣言がありまして非常に暑い中でございます。

小諸クラブが上田クラブと一緒になってIM・会員セミナーを開催する運びになりましたことは、ひとつの巡り合わせなのかなというように思っております。その中で上田クラブは小諸クラブの親クラブでございます。またこれを機により良い交流を深めていただければと願っております。



今日は最後の例会ということで、今年度も残り僅かでございます。今年は地区大会が中止になりましたが、このような中でも、東信第一・第二のIM・会員セミナーは、上田クラブの協力、そして小諸クラブの協力というカタチで非常に成功に導かれたということで、地区の方からも評価を

いただいております。ご報告を申し上げる次第でございます。

今後とも仲良くしていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

【乾杯のご発声】

東信第二グループガバナー補佐 北村修一様

本日は小諸RCの皆様、お越しいただきましてありがとうございます。

IM・会員セミナーと一緒に開催してから、とても親しくなりました。ご出席の皆さんの益々のご健勝と、小諸RC、上田RCの益々の繁栄を祈念いたしまして乾杯！



【懇親会ご挨拶】

小諸RC会長 山口哲也様

皆様本日は本当にありがとうございました。

IM・会員セミナーから上田RCの皆様とは色々打ち合わせをさせていただきまして、ガバナー補佐、大会委員長からも話があったように、なんとかオンラインで開催をすることができました。上田RCの皆様本当にありがとうございました。また本日は、最終夜間例会にお招きをいただきまして、自分が会長を務めた今年の半期はこのような懇親会ができなくてとても残念でした。本日はお酒が好きな9名の小諸RCの会員が、上田様の例会と一緒に参加させていただいております。IM・会員セミナーの打ち上げから本日までお世話になりました。心より御礼申し上げます。



上田RCの皆様のご健勝とご発展を願ってご挨拶にかえさせていただきます。美味しいお酒、美味しいお料理、そして楽しいひと時を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

【中締め挨拶】

矢島康夫 会長エレクト

あと何日かで会長になります。

小諸RCは私どもが親クラブでございます。

上田RCは、6クラブの子クラブを作っております。孫クラブまで入れれば11~12クラブがございまして、長野県のロータリーの何分の1かは、私どもの関係のクラブでございます。

2年間コロナ禍でなかなか親睦が出来ませんでしたので、来年は親睦を深めて参りたいと思っております。親睦を深めることにより、奉仕活動もより充実していければと思っております。多くの関係のロータリークラブの皆様と仲良く親睦を続けていかれればいいかなと思っております。

子クラブであります、長野RCはもうすぐ60周年を迎えます。それから丸子RCが来年春に60周年記念式典を開催するといわれています。小諸RCさんは、次々年度(来年10月)に60周年を迎えます。

来年は多くのクラブの皆さんと交流の場をつくるのが出来ればと思っております。

小諸RCの皆様とも今後も仲良く親睦を深められればと思います。中締めとして、1本締めにさせていただきます。本日はありがとうございました。



懇親会の様子

